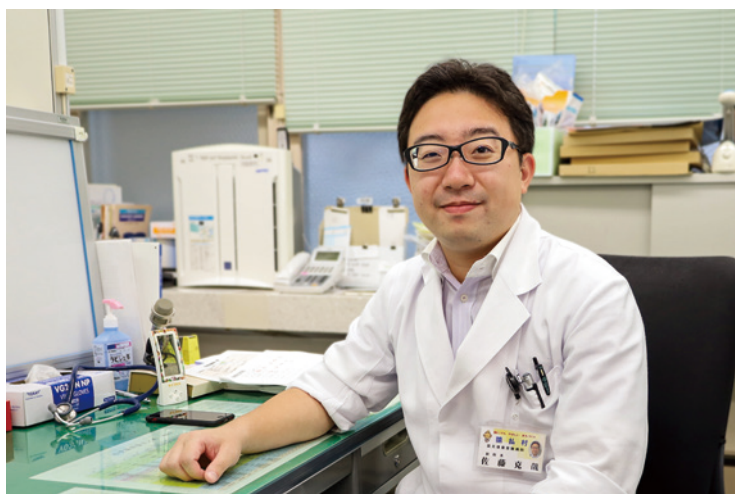


## 猿払村に合った医療を展開



さとう かつや  
佐藤 克哉 (31)

北海道虻田郡倶知安町出身。  
趣味は、10年以上続けている“トランプマジック”。  
過去にはデイサービス等で披露していたとのこと。

10月1日、猿払村国保病院に副院長として佐藤克哉医師が着任しました。佐藤医師は、北海道大学医学部を卒業後、勤医協中央病院、勤医協札幌病院、道北勤医協宗谷病院、道南勤医協函館稜北病院を経て猿払村国保病院に着任。外来や健診、訪問診療など全般を行い、村民のみならずが安心して暮らすことができるよう、地域住民の健康を支えていきます。

今回のインタビューには、終始笑顔で答えてくれ、明るく親しみやすい印象でした。

猿払村へ来たきっかけ  
様々な病院で仕事をする中で、都会の病院だとみんなで協力して医療をするということができないため、田舎のような小回りが利くような場所で30年、40年と地域医

療を長く続けていきたいと思うようになったことです。

猿払村の印象  
人との距離が近く、みんな優しく過ごしやすいです。また、とても歓迎してくれている雰囲気を感じます。

どんな医療をしたいか  
田舎で難しい病気を治すことは難しいので、まずは、糖尿病や高血圧などの慢性疾患の管理や予防、健康増進などのほか、病院経営のテコ入れにも力を入れていきたいです。

村民へひとこと  
「地域」を専門にした家庭医療という分野を専門にしているので、何でも診ることができます。何か困ったことがあれば何でも相談してください。

### 時事雑感

11月に入り、少しずつ冬が近づいてきました。これからは外でのスポーツが終わり、冬のスポーツの季節になりますね。私自身も野球をやっている今年の試合はすべて終了してしまいました。今年は、久しぶりに軟式ボールで野球をしてとても楽しいシーズンになりました。来シーズンも頑張っていきたいと思います。ですが、これからは体を動かす機会がなくなり、今後の体の変化が少

し怖いです。これからの季節は美味しいものが多いので、意識的に体を動かして生活しなければならないと思います。

さて、今月のお楽しみはさるふつクイズです。難易度はそこまで高くないので猿払村に住んでいる方なら簡単にわかるのではないのでしょうか。猿払村の歴史についての問題もありますので、ぜひ楽しみながら皆様の猿払力を試してみてください。[F]